

三里塚・ジェット闘争貫徹ノ「国鉄35万人体制」粉碎ノ

# 81.3ジェットストへの大量不当処分弾劾!

## 3.3怒りの24H減産闘争うちぬき 3.6大集会に総結集しよう!

### 抗議 声明

三月一日、国鉄当局は、わが動労千葉が闘いぬいた81・3ジェット燃料貨車輸送阻止5日間ストライキ闘争に対する、停職六カ月(七名)をはじめとする計二二一名にのぼる政治的不当処分を強行発令した。  
この大量不当処分の発令は、西森執行委員以下四名の不当解雇処分が続く、政府・国鉄当局の階級的憎悪にみちた政治的報復処分である。

動労千葉一三〇〇は、階級的怒りにもえ、この不当処分強行発令を徹底弾劾する。この不当処分に断じて屈することなく、三里塚労農連帯の正義性への確信をますますうち固め、反撃し、闘いぬくことを、断固として宣言する。

日帝支配階級が軍事大国化・憲法改悪を軸に大反動攻撃をエスカレートし、その攻撃の中心を三里塚二期攻撃と国鉄労働運動の解体にすえ、今日いよいよその攻撃を激化させてきている情勢の中で強行されたこの不当処分攻撃の意味は重大である。

まず第一に、解雇四名に続く停職七名をはじめとする今回の大量不当処分は、国鉄労働運動史上かつてみない、組織破壊を意図した大処分攻撃だということである。

第二に、こんにち熾烈に闘いぬかれていた三里塚芝山連合空港反対同盟への切り崩し攻撃、組織破壊攻撃と軌を一にした労農連帯の破壊、動労千葉の組織破壊攻撃だということである。三里塚二期攻撃の重大な一環をなす攻撃である。

第三に、35万人体制化をはじめとする国鉄大合理化攻撃の中で、国鉄労働者につけられてきた許すことのできない攻撃だということである。

今日、政府支配階級と国鉄当局は、「第二臨調」による「国鉄民営・分割」論、「国鉄赤字」キャンペーン、「国鉄ヤミ手当」キャンペーン、を展開しつつ、35万人体制を強行し、国鉄労働者と国鉄労働運動に対するさまざまな攻撃をかけてきている。あらゆる既得権の剝奪、賃金抑制、要員削減と生活破壊、そして右翼労働「統一」と表裏一体の国鉄労働運動破壊攻撃等々、いまや国鉄労働者の怒りは耐えがたいまでに高まっている。国鉄労働運動の戦闘的高揚の新たな胎動がすでにじまっているのだ。

このとき、権力・当局・動労「本部」革マルの集中する弾圧・処分と闘争破壊を粉碎し、闘いぬかれた5日間の81・3ジェットストライキの路線こそ、全ての国鉄労働者の進むべき道であることは、いよいよ鮮明である。だからこそ、国鉄当局は、今の時点で、大量不当処分を強行発令し、動労千葉の組織破壊をねらい、同時に、国鉄労働者の戦闘的決起を圧殺せんとする処分攻撃にうってでてきたのである。

一方、動労千葉組合員10名を警察にデッチ上げ告訴し、「警察労働運動」へと墮落した動労「本部」革マル反動分子は、かかる国鉄当局と呼応し、「ストライキは無謀だ」「闘っても権力には太刀うちできない」「権力の思うツボだ」「資本主義体制―国鉄を守るためには、二―三割働き度を高めよう」なる反階級的な路線をうち出し、国鉄労働者の闘いの圧殺に躍起となっている。

わが動労千葉は決意も固く宣言する。  
労農連帯への破壊攻撃と裏切りを粉碎し、あくまでも三里塚ジェット闘争の正義の路線を貫いて闘いぬく。反対同盟と固く連帯し、三里塚二期工事阻止の闘いに総力で決起する。

わが動労千葉は、不当処分に抗議し、三月三日24時間の減産闘争に決起する。  
81・3闘争の路線を堅持・発展させ、国鉄当局の大量不当処分攻撃を粉碎し、動労「本部」革マル反動分子の「国鉄を守れ」||「働こう」運動||動労の産業報国会化への路線を粉碎して、すでに切つて落された国鉄大合理化攻撃粉碎・国鉄労働運動の戦闘的階級の発展にむけてたたかいぬく強固な決意を明らかにするものである。

右 声明する。  
一九八二年 三月 一日

国鉄千葉動力車労働組合  
闘争委員会

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!